

# 日本屋根経済新聞

発行所 日本屋根経済新聞社  
本社 TEL (03) 3394-3211  
〒167-0033 FAX (03) 3394-2119  
東京都杉並区清水2-22-13  
http://www.yanet.co.jp/  
編集部 TEL (03) 3263-2993  
〒102-0071 FAX (03) 3263-3060  
東京都千代田区飯田橋1-10-3  
電子メール: news@yanet.co.jp  
購読料: 年間22,000円+税  
(送料サービス)



## 損保鑑定人フォーラム

# 「屋根」に焦点当ててる

## ガイドラインに強い関心

(二社)日本損害保険鑑定人協会(本部・東京、内山真会長、63社)は11月8、9の両日、東京の御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターで第6回「損害保険鑑定人フォーラム」を開き、「劣化と保険事故の検討」で「屋根」をクロージングアップ。(二社)全日本瓦工事業連盟も協力した。2日間で会員や損保会社ら約430名が聴講した。

## 全瓦連の足立氏ら講演

同フォーラムで「屋根」が単独のテーマとして取り上げられたのは初めて。経年劣化した屋根を、台風被害や雪害(雪災)として保険請求する事例が増えていることが背景にある。



講演では瓦屋根のさまざまな現象が説明された



パネルディスカッション。左から2人目が宮村氏、3人目が足立氏

(国総研)の宮村雅史主任研究官と、全瓦連の足立英明副理事長ら。宮村氏は東日本大震災で土葺きの瓦屋根(無縁)が崩壊して「屋根の経年変化を考

いく家屋と、その隣で無傷の瓦屋根の家屋が揺れの後も残っている動画を見せてから、「瓦

察する」と題する講演を行った足立氏は、風災や雪害、経年劣化などによる瓦屋根や化粧スレート屋根、樋の状態の事例写真131点を盛り込んだ「写真集を資料として配布、一部スクリーンに映して屋根などに現れる現象について解説した。

さらに粘土瓦の形状分類や、製法、平部棧瓦の施工方法の地域的な違いなども紹介したほか、配布資料ではトップライトまわりや壁際からの漏水についても示した。

### 良質な施工

次世代に伝える

足立氏は講演の最後に「災害による」屋

解説 日本損害保険鑑定人協会

損害保険鑑定業務を専門として行う事業者が会員となって構成する一般社団法人で設立は1975年10月。今回のようなフォーラムのほか、会員の知識や鑑定技能向上を図るための教育研修活動、情報誌の発行、関連団体との連携などを行っている。屋根工事業者をパネラーとして登壇させたのは、第2回フォーラ

### 主な記事

国交省、台風で意見交換  
「覚賞」開催概要決まる  
災害復旧の初期対応  
熊本城復元で写真集

(2面)  
(3面)  
(4面)  
(5面)

根の損壊の事象を見る。資料選定の知識の希薄さや、施工上の配慮のなさに起因する事故が多い」とし、「良質な施工内容の徹底を、次代を担う業界の後継者たちに伝えていきたい」と述べた。

### 市民に広く

「屋根防災」意識を

足立、宮村両氏は、講演後に行われた鑑定人会社を交えたパネルディスカッションにも参加し、屋根の状況診断などについてそれぞれ専門家の視点で見解を示した。

両氏に対して鑑定人からは、「ガイドラインがまとめられた経緯について教えて欲しい」

ム「不正請求・モラルリスク第2弾」に次ぐもの。

黄綬褒章に磯貝氏  
現代の名工は矢野氏

瓦工事業界で秋の黄綬褒章を受章したのは、厚生労働省関係で愛知県碧南市の磯貝喜代広氏(62歳)、磯屋屋根工事代表。同省の「卓越した技能者の表彰(現代の名工)」は、同県知立市の矢野敏平

た。パネルディスカッションの最中、スマートフォンで聴講者を実施されたリアルアンケートへの意見がスクリーンに映し出されたが、「非常に参考になった」との声が多く、また「瓦(屋根)のメンテナンス時期とその判断」や「屋根工事の話をもっとじっくり聞きたい」など、屋根に対する関心の高さを伝えていた。

### 星雲

20年ほど前に取材した首里城正殿。その火災の模様を朝方のテレビで見ると、衝撃を受けた。同時に、赤瓦をはじめ、建物の復元に尽力した関係者の顔が浮かんだ▼NHKの映像で熊本城の瓦が崩落する様を見てから3年半、大天守は見事に互で復元され、熊本市民を元気づけている。▼人間は、幾度と繰り返される災害を乗り越えてきた。首里城復活に向けた動きは始まっている。

株式会社 清神 池

TEL 0569-22-4711  
FAX 0569-22-9367

工されているのかを、写真撮影するなどして知っておく必要がある」との見解を示した。

氏(67歳、矢野屋根工事店代表)が受章した。

施主の目を屋根に向ける!

わが家の屋根診断

日本屋根経済新聞社  
1セット50冊・定価5,000円(税・送料別)

## KMEW

# 軽さに、風格のある厚みを。

屋根は軽いほど、地震時の建物の揺れが抑えられます。ROOGAは瓦ならではの重厚感を備えつつ、独自の複合素材で大幅な軽量化を実現。地震に強く邸宅感ある住まいづくりをお手伝いします。

自然災害に強い屋根材。

## ROOGA

ル-ガ



ケイミー株式会社 [本社]〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー13F  
(旧社名:フタバ松下工外装株式会社) ●ホームページアドレス https://www.kmew.co.jp/

お客様ご相談窓口 ナビダイヤル 0570-005-611 受付時間:月~金 9:00~17:00 FAX:0743-56-4023